



佐藤さん

ありがとうございます



東京川西会々長
森田 光雄
(大塚)

佐藤誠副会長（前事務局長）の計報に接し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。長年にわたり役員を務められ、特に事務局長の二二年間は、各種行事などで特に裏方として行事の成功に導いてくれました。

黒べこ祭りや芋煮会前夜祭の懇親会場で、皆さんが部屋でくつろいでいる間、座席や進行手順のチェックを黙々とやられている姿を今でも思い出します。こまいことに気が付く方で頭が下がる思いです。当会の役職のほかにも、その人柄から高校の同窓会の役職等もされ、皆さんから愛され信頼される方でした。葬儀に参列しましたが、奥さん・娘さんやお孫さんたちの様子から、生前本当に親しまれていたこと実感しました。遺影はお猪口を持った写真で当時の

そのままの姿でした。改めてご冥福をお祈り申し上げます。今年も半年過ぎましたが、総会を始め中止とさせていた

いただきました。一時コロナ感染者が減少傾向になりましたが新たな変異株が発生し、有効なワクチンを人間が開発すれば、それに対抗してコロナも変化していく追いかけてこのようです。

芋煮会ですが、開催は難しいと考えています。現在国及び東京都からの行動制限はありませんが、感染者数が高止まりです。医療体制も逼迫（崩壊）していますのでご理解をお願いします。

今号から会員の皆様の声や、ふるさと川西の各地区センターの現状をご案内し、なかなか帰省もままならない状況下で、ふるさとの現在をお知らせしようと努めさせていただきました。原稿をお寄せいただいた皆さまに心から感謝申し上げます。

8月3日から線状降水帯が次々に山形県を通過し、川西町の道路の冠水や町道の橋が崩落した様子などが放映されました。また600人を超える方々が避難されたそうです。私は所用で帰省しその一端を垣間見できました。ダリヤ園下の鏡池の決壊、

道路の陥没、町内の複数個所で家屋への浸水や田畑の冠水などがありました。幸いに人命にかかわる被害がなかったものの、昭和42年の羽越水害に匹敵する災害と認識しました。私の中では線状降水帯の発生は関東から西、特に中国地方や九州地方というイメージがありました。考えを改める必要があると痛感させられました。

無常の大雨が



川西町長
原田 俊二
(中郡)

会員の皆さんお変わりありませんか？コロナが長引き活動がやりにくい状況が続いていますが、行動制限の無い今年には森田会長さんをはじめ役員の皆さんに来町いただきありがとうございました。初めて新庁舎に入っていた皆さんのお声を聞きかけたのですが、慌ただしく失礼してしまい申し訳ありませんでした。

三年ぶりの夏まつりを準備していましたが、8月3日に豪雨大災害が発生しやむなく中止となりました。3日正午より本降りとなった雨は4時頃から一層激しく降り続き、一時間当たり100ミリの猛烈な豪雨と

なるなど、約14時間で8月一か月の3倍近い380ミリの雨量を観測しました。このため町内至る所で一気に低地に濁流が押し寄せ、道路は冠水し通行止めが多発しました。特にダリヤ園上流の内山沢に降った雨が鉄砲水となって園内を押し流し鏡沼を越水、破堤し殿原、宮町、桐町、若葉町一帯に濁流が押し寄せ、ほとんどの世帯が床上、床下浸水に見舞われました。一瞬にして貴重な財産を失ってしまった皆さんにお見舞いを申し上げます。さらに浸水被害は広範に及び、令和元年台風19号で床上浸水した下黒川や高豆蔻、吉田や北郷などでは前回は上回る増水で被害が拡大、無念の一言に尽きます。また枝豆やダリアなど農作物や事業所の被害も甚大です。被災現場を見ると今回の災害の大きさに驚くばかりで、大津波の被災現場のような惨状に、水の破壊力を痛感しました。幸い人命にかかわる被害が発生しなかったことが救いです。昼夜に渡り懸命に災害対応に当たった消防、警察、地域の自主防災組織、町職員などご協力いただいた皆さんに感謝しています。

現在被災された家屋の泥やごみの撤去、二次被害防止の緊急の水路確保や道路・水路の応急復旧、災害復旧に向けた調査等を実施してきました。

会員の皆さんはじめ全国から町へ
激励の連絡をいただきました。ダリ
ヤ園をはじめ被害は大きくこれから
本格的な復旧事業が始まります。是
非皆さんには変わらぬご支援をよろ
しくお願いします。

10月鹿児島県で和牛のオリンピ
ックといわれる全国和牛能力共進会
が開催されます。山形県代表として
町から多数の繁殖メス牛が出場しま
す。優秀な成績を収め明るい話題が
届くことを期待しています。

ふる里紹介

大塚地区の近況

大塚地区交流センター長

加藤 秀樹

大塚地区出身ならびに大塚にゆか
りのある皆さん、元気で過ごして
しょうか。今、大塚地区では平成
29年に始まった川西町メディカル
タウン事業が進み、公立置賜総合病
院(地元では「おきそう」と呼ばれて
います)の南側一帯が変わりつつあ
ります。簡単に紹介しますと、8月
現在3つの個人病院が開業していま
すし、その南側にはツルハドラッグ
とヤマザワが建設中で、今年秋から
来年春にかけて営業を開始します。
住宅地の造成が桜自治会の東側で
行われており、この秋から17戸の

分譲が始まります。現在のところ事
業全体(約9ha)の3分の1程度
まで進んでおり、令和5年度以降北
東部の公共区(約1ha)と南西部に
住宅地の造成、南東部にホームセン
ターの建設が予定されています。

現在、全国の市町村のほとんどは
少子高齢化、過疎化、空き家などに
悩まされています。大塚、川西町を
話す時「雪が多い」「仕事がない」
「交通の便が悪い」など悪いイメー
ジの言葉が出ます。そのような中、
メディカルタウン事業は明るい材料です。

この事業と並行して、置賜総合病
院付近で交わる2つの国道(113
号と287号)の整備が行われてい
ます。国道113号は新潟と宮城の
両県を結び、国道287号(米沢長
井道路、通称「川西バイパス」)は県
南置賜と庄内を結びます。2つの動
脈が交わる大塚や川西町は地理的に
大変有利で、近い将来、企業誘致が
進み、職を求めやすく、将来に希望
が持てる地域となるでしょう。若い
世代が増え、人口が増えた時、子供
や孫世代にとって環境はどうかと心
配されるかもしれませんが、川西町
では高校卒業まで医療費が無料です。
通学圏内の米沢や山形には4年制の
(国)山形大学、(県)米沢栄養大学、
(県)保健医療大学、(私)東北芸術工
科大学、(私)東北文教大学があります。

短期大学には米沢に(県)米沢女子短
期大学、山形に(私)東北文教大学と
(私)羽陽学園短期大学があります。
少し遠い酒田には4年制の東北公益
文科大学もあり、学びの場は十分整
っていると思っています。

皆さんにとって東京は「ふるさ
と」になっていることでしょう。私
は2017年3月、定年退職を機に
家督を継ぐためUターンしました。
日本列島どこへ行っても台風などの
自然災害や地震の心配がありますが、
ここ大塚は安心して暮らせる土地だ
など日々感じています。この便りが
皆さんにとって大塚や川西町を振り
返り、終の住処として見直す機会の一
助となればと思っております。

やさしい関東のお父さん 佐藤さ
んとのは交流は、電話口からやさしい
口調で「川西会の佐藤です」と聞こ
えた時からはじまりました。佐藤さ
んとは実家が直ぐ近くで、佐藤さん
の実家の修一さんと私の父が同じ職
場に勤めていたこと、私の友人数名
が佐藤さんの実家のお仕事を毎年手



佐藤さんとの思い出

東京川西会理事

入間市在住

高橋 雅彦

(犬川)

やさしい関東のお父さん 佐藤さ
んとのは交流は、電話口からやさしい
口調で「川西会の佐藤です」と聞こ
えた時からはじまりました。佐藤さ
んとは実家が直ぐ近くで、佐藤さん
の実家の修一さんと私の父が同じ職
場に勤めていたこと、私の友人数名
が佐藤さんの実家のお仕事を毎年手

泊まって 食べ 入浴して

川西町浴浴センター まどか

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松 5095-36

TEL 0238-42-4126 FAX 0238-42-4100

http://www.k-madoka.co.jp/

伝わって頂いていたこともあって身近に感じていたのですが、我が家のお付き合いも深く、佐藤さんは私が知らない父や祖父母の話をしてくださいました。佐藤さんは父より少し先輩だそうです。

父が52歳で他界した話をしたときは、「政一さんはそんなに早かったのか」と話されましたが、私の父は元気な少年坊主の印象だそうで、父の少年時代を想像し嬉しくなったのを覚えています。

優しい佐藤さん、会員の集まりの時に「高橋さんの出身は犬川地区です」と真っ先に皆さんに紹介して頂きました。その前は内心では東京川西会とはどんな人達がいるのだろうと少し緊張していたのですが、私を気遣って先口を切って話し、スムーズに輪の中に入れたのです(笑)。その後は若い私が困らぬよう会合や催しで先導して頂き、事務局長の職務と私の面倒を見る事と本当にかわいがってくださいました。

やさしい佐藤さん、ダリア公園の黒べこ祭りでは、笑顔でそっと自分の牛肉を私の器に乗せて、「若いものが食べればいいんだよ」って奥様とお皿に一杯乗せて頂きました。きっと、ほとんど食したことのないA5ランクの牛肉に、持前の卑しきで私

の目がランランとしていたのでしょう。(反省)

やさしい佐藤さん、一番の笑顔の思い出は総会の席でお孫さんの演奏を聴いている姿です。奥様と椅子に並んで座り、少し視線を落とし、時に目を閉じ照れているような嬉しそうな表情は、やさしいおじいちゃんのお顔そのもので素敵でした。

佐藤さんは何年も関東にいないのになかなか抜けられない置賜弁とイントネーションは私も一緒です。

佐藤さんを思い出すと川西町の風景が浮かんできます。

佐藤さんおもしろいし、そして心よりご冥福をお祈りいたします。

会員の広場

園児から学んだこと



東京川西会顧問
西東京市在住
米野 宗禎

(小松)

私たちが住む日本列島は、「東日本大震災」に遭遇しましたように「地震・雷・火事・親父」と言われてきました(近年、「親父」は優しいのですが)。

ところで子どもと遊び興じて下さった「良寛和尚」は、故郷の越後でマグニチュード大9の激震を体験し、

「災難に逢時節には災難に逢うがよ候。死ぬ時節には死ぬがよく候。是はこれ災難をのがるる妙法にて候。」とのことを残されております。生死をありのまま受け止めよと諭しているのでしょうか。解釈は自由です。

さて、近年になって日本は地球温暖化によるCO₂排出防止や、生物多様性の保全、廃棄プラスチックによる海洋汚染など地球環境が人的汚染されており、大問題にご承知のようになっています。

小生はチョビット昔、仙台市内の幼稚園の園長を任せましたこともあり、ある子どもたちに「地球を汚すと人が住めなくなる」話をしました。

すると「園長先生！キレイナ地球を買ったらイイヨ！」全員が「ソウダ ソウダ」との返事でした。「蓋し名言である」と学びつつも、「こんな子どもにダレがした」とショックを受けたのでした。

世の中、大量生産、大量消費、世界中が米中は固より経済戦争中。日本は平和ボケ。国連が最近示した世界幸福度ランキングが一四六カ国のうち日本は五四位、先進国では最低レベル。つまり自分の国に誇りを持ってないということでしょうか。園児から学ばされるもする昨今です。

全員の方々に合掌。(五月五日)

商品の発送承ります

かわにしのいいものを集めた『かわいい』

かわにし 森のマルシェ



〒999-0122
山形県東置賜郡川西町大字中小松2534
TEL 0238 (42) 6664 FAX 0238 (42) 6665



近況のご報告



日野市在住

五十嵐 三喜子

(犬川)

暑い毎日、皆様いかがお過ごしでしょうか。

コロナ感染の多さも収まりがつかず、思うように出かけることも出来ず、以前のように、楽しく過ごすことも出来ないですね。

私も、友達と会えずに、近所のお年寄り仲間と愚痴を言い合いながら日々生活しています。川西会で皆様とお会いできる日を、今年も期待していたのですが、駄目でしたね。早く、元気な顔の皆様にお会いしたいです。

先日、佐藤誠さんの訃報を聞き、びっくりしました。私とは、お誕生日が二日違いで、ずっと共に歩いてきたのにと、残念でなりません。いつも優しく接していただいていたので、私たちの仲間が一人いなくなり、寂しい気持ちでいっぱいです。

川西会も、若い人達が増え、いろいろな行事が出来るようになり、故郷を元気にしていけたらと思っております。

二年前に、川西町に行った時には、山形はコロナ感染がゼロだったのに、今年になって急に多くなりました。

何がいけないのでしょうか。皆に自粛を促しても、どうにもなりません。暑い夏が終わり、実りの秋が来て、望ましい生活が出来るよう願っています。

ふる里は近くにありて

より思うもの



横浜市在住

井上 修

(小松)

十数年前会社人生を卒業し、「スローライフ」をモットーにこれからの人生の過ごし方を様々考えていました。その頃から、「田舎暮らし」が話題になり、「ふる里暮らし」をしようとの意欲が湧いてきました。

人は誰でもふる里のかけがえのない思い出の映像を、胸に深く刻み込まれていくつも抱えているものです。それを大切に温め、紡ぎ出して人生の軌跡を生きるものと思います。

東京での新山中学校同級生の集まりで、Zさんから実家が空き家になっているので使つてとのありがたい話がありました。いくつかの仕事

を抱えていたので横浜と川西の「ふる里暮らし」として始めました。暫くして、勤務していた会社の後輩に「井上さん山形に移住した」との話しが伝わり、多くの仲間達が入れ替わり立ち替わり川西にやって来ることになりました。

蔵王、天元台でのスキー、山形南カントリーでのゴルフ、百名山等への登山、ひめさゆりウォーク、十三峠等の歴史街道歩きと、ふる里のどこまでも奥深い自然に分け入り濃密な四季の風景を楽しむことができました。当初は「男の隠れ家」として、一人静かな時間を願っていたのですが、いつの間にか合宿所の管理人となつてしまったようです。大いに汗をかいた後の地酒と、小生にとつて懐かしいだけの食材ですが、彼らにとつて最高のもてなしとして喜んでくれたのです。

隣りのK社長のご好意で、秋の「秘伝豆」の収穫には、毎年数人が東京から来訪しては、大喜びで刈り取りをやっています。ふる里の魅力ある自然と食文化の多様性の再発見には驚くばかりです。小生の限りあるネットワークですが、川西の魅力伝えて、川西のファンを更に募りたいと念じています。

おいしい自然いちはやく、四季ある幸せ、JA山形おきたま。

山形おきたま農業協同組合

川西支店 / 〒999-0121 川西町大字上小松1735-1
TEL 0238-42-3125 (代) FAX 0238-46-3128

川西経済 / 〒999-0121 川西町大字上小松1034
支店 TEL 0238-42-2150 (代) FAX 0238-46-2354

米沢牛

テラウェア

山形おきたま米

山形・川西町・

東京川西会が大好き



横浜市在住

佐藤 弘子

(大川)

山形物産展からの案内が来れば、遠方にもかかわらずリュックを背負って買い求めに行っていました。最近、森のマルシェから取り寄せて、友人や子等にあげるのが楽しみのようでした。

そんな夫が七月十三日に静かに旅立ってしまった。私を残して。

家族にとって大切な人を失った悲しみは、計り知れないものです。悲しくて、淋しくて、つらい日々を送っています。

六月始めの頃から、体調を崩して大病院に入院し、いろいろ検査や治療を続けていましたが、難しい病であったようで、医療関係の方々や家族の手厚い介護もむなし、苦しまず、静かに旅立ってしまった。本当に悔しいです。

東京川西会の行事は、すべて参加して楽しんでいました。今年も三年ぶりに川西町の夏祭り、花火大会が開催されるとのこと、花火を購入して参加するのを楽しみにしていましたので、残念でたまりません。

病で意思疎通が難しくなっていました。私が川西会の話をする、目を大きく開き、口元は微笑んでいました。それほど、東京川西会が大好きだったので。

私も、川西会の行事は夫と一緒に参加させて頂き、沢山の思い出が出来て、本当に幸せだったと感謝いたして居ります。

東京川西会の皆様、佐藤誠は旅立ちましたが、陰ながら川西会を応援しているものと思います。そして私も、心から川西会の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

お役立ち情報

今回のお役立ち情報は、ふるさと納税について森田会長に解説していただきました。

ふるさと納税の役に立ち、自分にも田舎の産品が届くのだからしてみたいとは思いますが、年金生活で納税額も少ないのでメリットはないのではないかと考え、踏み切れないでいる方が多いのではないかと思います。

今回の情報を参考に、もう一度検討してみたいかでしょうか。

ふるさと納税とは

ふるさと納税は、ご自身の生まれ

故郷や応援したい自治体に寄附ができる制度です。「ふるさと納税」という言葉はなんとなく聞いたことがあるけれども、仕組みやメリットがよくわからず、利用をためらっていないでしょうか。難しい税金の話ですが、できるだけわかりやすく紹介します。

ふるさと納税の仕組み

ふるさと納税は過疎などにより税収が減少している地域と、都市部との地域間格差を是正することを目的として作られました。任意の自治体に寄附を行い、確定申告等を行うことで、住んでいる自治体に納めている所得税や住民税から寄附額が控除される仕組みです。控除を受けられる金額は、所得や納税額によって異なりますが、寄付金から2000円を差し引いた金額が控除されます。控除の方法は、寄附をした際に発行される寄附金受領証明書を用いて確定申告を行うか、確定申告が不要の方は寄附をした自治体にワンストップ特例申請を行います。

ふるさと納税のメリット

ふるさと納税のメリットは、「税金が控除される」「寄附金の使い道を指定することができる」「お礼の品がもらえる」などです。多くの自

農家発!! 愛情たっぷり

杵つきもち

(有)大塚もち加工センター

TEL:0238-42-5159 FAX:0238-42-5336

〒992-0601 山形県東置賜郡川西町大字西大塚1267-7

地元直産

治体では、寄附金額の3割以内の範囲で地域の名産品などをお礼の品として寄附者に用意しています。川西町でも、米・米沢牛・地酒などを返礼品として用意しているほか、寄附の使い道については、教育や子育て、町づくり、産業振興など7つの使い道から指定することができます。

控除上限金額について

控除額についてシミュレーションしてみました。収入は年金収入のみ、配偶者有です。なお、家族構成・社会保険料支払額などにより金額が変わりますので、あくまでも目安と考えてください。控除上限額以上の寄付をした場合、控除される金額は控除上限額となります。

- 年金収入200万円
控除上限額 2,000円
- 年金収入250万円
控除上限額 2,500円
- 年金収入300万円
控除上限額 3,000円
- 年金収入300万円
控除上限額 17,600円

今回の災害に伴う寄附について

川西町のふるさと納税では、今回の災害に対して災害支援寄附を募っています。この寄附は返礼品はありませんが、復旧のために寄附をしてお手伝いしたい方は、川西町のホー

ムページから令和4年8月豪雨災害支援寄附（ふるさと納税）に進み寄付をすることができます。なお、パソコン等苦手な方は、氏名、住所、連絡先などをファックス等で町に連絡をすると、後日郵便振替用紙が送付されます。多数の方々の取り組みをお願いします。

連絡先

川西町役場 産業振興課

商工観光グループ

電話 0238-42-6645
FAX 0238-42-2600

庶務日誌抄

四月十五日 会報第89号発行
例年五月開催の定例総会は、今回も開催することができませんでした。皆さん、再会の日までお元気で。

第五十五回研修・忘年会

中止のお知らせ

恒例行事の一つである年末の研修・忘年会につきまして、コロナ感染の危機的状況から脱していないこと、営業の自粛により大人数を収容できる会場の確保が困難であることから、今年度も中止とさせていただきます。大変残念ではありますが、ご理解をお願い致します。

編集後記

豪雨災害に遭われた皆様に、心からお見舞いを申し上げます。町職員の皆さんも休日返上で頑張っておられ、関東で手をこまねていることが歯がゆくも申し訳なくも思います。昭和42年の羽越水害では、中学校が休校になり、生徒が被災農家に振り分けられて、総出で復旧のお手伝いをしたことが思い出されます。この度は、せめて会長にご紹介いただいた寄付金で、何がしかのお役に立ちたいと思います。

ロシアのウクライナ侵攻が長期化しています。戦後77年も経ちながら、国連の安全保障理事会の常任理事国による蛮行を止めることが出来ないとはどうしたことでしょうか。戦後は百年経たなければ終わらないと言われますが、将来の蛮行を止めるため、今からでも国連に戦後百年委員会のような組織を設け、大国による侵略が出来ない仕組み作り、核爆弾を使えない仕組み作りを進めていただきたいと思います。

また、この蛮行等によって世界中の物価が高騰しており、発展途上国の中には高騰した食料品が確保できず飢餓の危機が拡大しています。先進国は自国だけでなく、このような問題にも役割を果たさなければなら

ないものと思います。

ついに、深紅の大優勝旗が、仙台育英学園高校によって白河の関を越えたような嬉しさです。さあ山形県勢、置賜勢も後に続き、置賜健児の底力を天下に轟かせていただくよう期待しています。

東京川西会 会報 No.九十号
発行「アルカディアの里」東京川西会
発行責任者 会長 森田光雄
編集者 事務局長 鈴木茂
〒362-0064
埼玉県上尾市小敷谷一〇五八・七一
TEL・FAX 048-725-3249
携帯TEL 090-4952-3397

献上 小倉羊羹本舗

<http://www.mnisikiya.jp>

山形県川西町上小松 1509
TEL 0238-42-2636

錦屋 国の登録有形文化財

